



■各地の活動レポート

●8月20日(日)

県内に21もの支部がある山口県では、山口県本部(事務局・山口銀行)と各支部が持ち回りで合同推進大会を開催しています。今年には錦帯橋で有名な岩国市で開催され、運動功勞者に、記念楯と感謝状が贈呈された他、小中学生を中心に5団体20人もの方々が実行章を受章しました。中



実行章を受け取る「しんせつ兄妹」

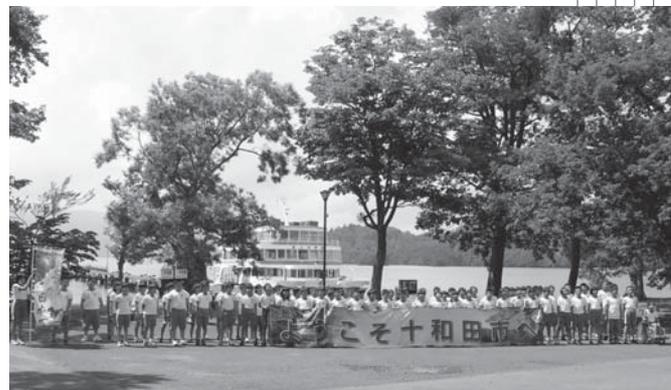
には兄妹で表彰されているお子さんも。「しんせつさん」の発掘に力を入れる山口県。今後も、ますます親切の輪が県内に広がることでしょう。

●10月14日(日)

長崎支部は、今年度より代表と事務局が(株)浜屋百貨店へと移行し、中牟田真一代表(同店代表取締役会長)のもと、「小さな親切」実行者表彰式を開催。同支部の表彰式では、実行者が動画やスライドを用いて、活動内容を発表するのが大きな特長。今年も、小学校の花植えを行う「桜町小学校花ボランティア」と、地域の草木の手入れを行う「平山台二丁目『かせすつ隊』」が発表し、どちらも親しみやすい語り口で、時に



受章者の皆さんと記念撮影



十和田湖畔で合唱する三本木小の児童

は笑いも起きるほど。また、永年同支部の活動を牽引した、前代表の中島公彦氏に中央本部より感謝状を贈呈。中島氏は、「これからも運動を続け、長崎をより良い街にしてほしい」とエールを送りました。

●10月21日(土)

今年創立40周年を迎えた青森県十和田支部は、記念大会を開催し、記念事業として実施した作文コンクール入賞者の表彰や、作文朗読を行いました。また、市内の三本木小学校は、郷土の魅力を伝えるオリジナルソング「たからもの」を作詞・作曲し、十和田湖畔で観光客に披露。その活動に対し実行章を贈呈しました。この曲は記念大会でも披露され、参加者を魅了しました。



洋野町立種市小の児童たちは力を合わせて海岸清掃

■ごみは絶対捨てない

「小さな親切」実行章の推薦活動が続いている磯崎孝男(会員)さんは、岩手県の種市漁港周辺の海岸清掃を行った洋野町立種市小学校を推薦。同校の活動は、八戸海上保安部の協力で、1年生から3年生は磯遊び、4年生から6年生はごみ拾いを行い、海の環境保全について学ぶというもの。後日、磯崎さんあてに児童より、「自分のごみは持ち帰ります」などの決意がつづられた作文が届きました。

■新たな運動の仲間

城南信用金庫

経営方針の一つに、「人を大切に」する経営「思いやりを大切に」する経営の徹底」を掲げる城南信用金庫が、法人会員として運動に加入。理事長に法人会員楯を贈呈に伺いまし



(写真左から)城南信用金庫：安田三千代副理事長、松沼正副理事長、渡辺泰志理事長
(写真右から)中央本部：小林和明理事、山橋由貴子専務理事

「おとなの作文」

一輪の朝顔

空き家となった実家の掃除に行く
と、玄関先に一輪だけ花が咲いてい
た。10月、季節はずれの青紫色の朝
顔だった。花が大好きだった父は生
前、玄関先にたくさんの花や植物を
育てていた。

「きれいな花ですね。」
朝夕の水やりや肥料、支え棒など、
植物の世話をあれこれしている父に、
道行く人や散歩中の人がよく声をか
けてきた。花がきつかけで、近所の

た。懇談の中で、城南信用金庫主催
の「よい仕事おこしフェア」のお話
をお聞きし、8月22日(火)、ご招待
を受け伺うと、多種多様な企業の商
談ブースや、地域の物産品販売・飲
食ブースなどがあり、大変な賑わい
でした。

■紙芝居「まつりのひ」の

英訳が完成

被災地の復興をテーマに制作した
紙芝居「まつりのひ」の英訳が、完
成しました。「小さな親切」運動本部

東京都 増田真奈美

人と玄関先で楽しそうに話しこんで
いる父の姿も何度も見かけた。
3年前の夏、突然旅立ってしまった
た父。実家は空き家となり、玄関先
の植物は世話をしてくれる人を失っ
てしまった。父を亡くした喪失感
どんどん枯れていってしまふであ
る。玄関先の植物。電車で片道2時間
の実家へ掃除に行く足取りが重くな
る。だが、沈んだ心の私を出迎えて
くれたのは、玄関先の色とりどりの

の子供向けホームページ「てらこあ
ん」からご覧いただくか、ご希望の
方には英訳をお送りいたしますので
「紙芝居係」までご連絡ください。

【お詫び】

前号(夏号・No.507) 14頁に掲
載した、秋田県鹿角市の実行章受
章者のお名前が間違っておりまし
た。誤【亀沢孝子さん】→正【亀沢貴子
さん】

亀沢様と関係者の皆様には、ご迷
惑をお掛けし申し訳ありませんでし

花や青々した植物たちだった。

(どうして枯れずにいるのだ
らう?)

実家へ行く度、不思議に感じた。
雨水だけで、植物たちは元気でいら
れるのだろうか? 予想に反して、
植物たちは枯れずにいたのである。
ある日、実家に行く時、

「気がついた時、水あげてるから。」
と、たまたま会った近所のご主人が
声をかけてきた。お願いしていたわ
けでもないのに、そのご主人は花や
植物に水をあげてくれていたのだ。
ご近所といっても東京なので、そん
なに密な付き合いではなかった。だ

た。謹んでお詫び申し上げます。

【寄附者ご芳名】

(7月～9月末現在/敬称略・順不同)
新潟県 甲野勝機/広島県 金行信
二/和歌山県 阪口繁昭/山口県
福増満

【道府県本部新代表就任】

(7月～9月末現在/敬称略)
香川県本部 渡邊智樹
(百十四銀行代表取締役会長)
鹿児島県本部 山田裕章
(県社会福祉協議会会長・元県副知事)

から余計に水やりをしていてくれた
ことに驚いた。

その後、いくつかの植木鉢は、花
好きの近所の奥さんが引き取って育
ててくれることになった。花や植物
たちが元気に出迎えてくれるおかげ
で、実家へ掃除に行くのも前向きに
なれた。

父が大切に育てていた花や植物が、
近所の人の親切のおかげで守られて
いる。葉が茶色に変わり始めた秋を
迎え、一輪だけ咲いていた青紫色の
朝顔。まるで父が笑いかけてくれ
ているように感じた。